

令和2年度「ユニバーサルデザイン教育」の取組について

宇部フロンティア大学附属幼稚園

本園では、令和2年度から、宇部市教育委員会が主管する「ユニバーサルデザイン教育推進事業」の指定を受け、その推進に取り組んでいます。

1 「ユニバーサルデザイン教育」とは

「ユニバーサルデザイン教育」とは、配慮の必要な園児であるかないかにかかわらず、すべての教師がすべての園児に対して日常生活の中で支援や環境の構成などの配慮を行うことを意味します。

本園では「ユニバーサルデザイン教育」に係る教職員研修に取り組むとともに、保育のユニバーサルデザイン化及び教室環境のユニバーサルデザイン化を推進していきます。

2 目標

すべての園児にとって生活しやすい学級づくりを整備し、すべての園児が集中して活動できるようにする。

3 教育のユニバーサルデザイン化のための6つのポイント

本園では、教育のユニバーサルデザイン化に必要なポイントとして、以下の6点を挙げて、取組を進めてきました。

- ①場の構造化 ②ルールの確立 ③指示の出し方
- ④刺激への配慮 ⑤生活の見通し ⑥集中・注目のさせ方

その中でも、今年度は特に、①場の構造化、②ルールの確立、③指示の出し方について、教師の指導方法、教室環境の整備の改善に努めてきました。

4 今年度の具体的な取組

(1) 教職員研修の実施

- ・教職員研修の実施により、「特別支援教育」「発達障害」「教育のユニバーサルデザイン化」等についての教職員の共通理解を深めました。

(2) 日常の保育実践

「教育のユニバーサルデザイン化」に必要な6つのポイントのうち、今年度は、特に、①場の構造化、②ルールの確立、③指示の出し方について、教師の指導方法、教室環境の整備の改善に努めてきました。

①場の構造化

◆片付け・整理整頓

保育室や園庭の玩具等について、「片づけの仕方」を視覚的な情報（カード）で示すことで、年々少から年長児まで、どの子ども道具の分類を一目で確認することができ、自分で仕分けして、教師に相談することなく片付けることができるようにしています。

今年度は、特に、砂場の道具や保育室の玩具の片付け、トイレのスリッパの整頓に力を入れ、具体的で分かりやすい視覚的な情報（カード）で示して練習しています。



トイレのスリッパそろえ



砂場の道具の片付け

②ルール の 確立

◆声の大きさの調整

保育室のルールを事前にわかりやすく示し、みんなで共有する手立てとして「声のおおきさ」を表示し、動物の大きさで表すことでルールを意識しやすくしています。

新型コロナウイルス感染症対策のためにも、室内での声の大きさについて徹底して取り組んでいきたいと思います。

◆廊下や室内での過ごし方

保育室や廊下での衝突事故を防ぐために、「しずかにんじゃ」を合言葉にして、室内では走らないルールを徹底しています。

また、人気アニメのキャラクターを使って示し、保育室からホール等へ集団で移動するときには、2列で一言もしゃべらずに移動し、集合することができるようになりました。

キャラクターを利用した掲示物



③指示の出し方 (シンプル・クリア・ビジュアル)

◆わかりやすい指示

話をする前に、まず、教師の方に注意を喚起します。そして、一度のたくさんの指示を出すとは混乱するので、指示は短く、一つの指示で一つの内容を原則とすることを徹底しています。

また、「しっかり」「ちゃんと」などの曖昧な言い方をしないで、「先生のお顔を見ながらお話を聞きましょう」「2列に並んで、「しずかにんじゃ」でホールに行きましょう」など具体的に指示を出しています。

◆視覚的な情報による指示

お話をする時は、できるだけ具体物を用意し、具体的で簡潔な言葉で次の行動を知らせます。また、「時計がゼロになるまで一生懸命練習しましょう」「時計の色がなくなったら終わりにしましょう」など、タイマーを活用して時間を視覚的に示し、見通しをもたせるようにしています。



年長児用タイマー



年中・年少児用タイマー

5 来年度に向けて

- 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で外部講師を招いた特別支援教育研修会、公開保育については、実施を見送りました。来年度は実施する方向で準備を進めていきます。
- 来年度は、教育のユニバーサルデザイン化に必要なポイントのうち、④刺激への配慮、⑤生活の見通し、⑥集中・注目のさせ方、についても取組を進めていきたいと思っています。